

1月1日から

# 「防災行政無線」正式に開設

## 安全な暮らしを守る声の伝言板

### 地震・津波等の緊急時に備える

⑧ しばこよ 報 広

希望の防災行政無線が、1月1日から正式に放送を開始いたしました。

防災行政無線は、昨年12月で廃止された有線放送に代わる町の広報機関として設置されたものです。

私たちのかけがえのない生命や貴重な財産を災害から守り、毎日安心して、うるおいのある生活を営むうえの、町と町民の皆さんを結ぶ情報媒体として期待されます。

に新しいところでです。

このように防災行政無線は、災害の発生あるいは発生が予想される場合など緊急時の連絡のほか、一般行政に関する放送が主体ですが、一定の地区のみの連絡などにも利用いただけます。なお、広告放送・迷い犬などの放送はできません。

### ♪チャイムが奏でる

### ふれあいタイム♪

朝・昼・夜には、屋外放送塔のスピーカー、家庭用戸別受信機からチャイムが流れます。

### 【定時放送】

朝 午前5時50分～午前5時55分  
午前11時50分～午前11時55分  
夜 午後6時50分～午後6時55分  
午後8時50分～午後8時55分

▼午後8時55分からの放送は再放送ですので、聞きたい方だけが再受信のボタンを上げてください。

▼定時放送以外に、緊急・その他随時お知らせする場合があります。

### 【時報のお知らせ】

ミュージックチャイムで時報をお知らせします。

朝 午前6時30分(田園)  
午前11時30分(浜辺の歌)  
午後3時 (浜辺の歌)  
夜 午後7時 (家路)

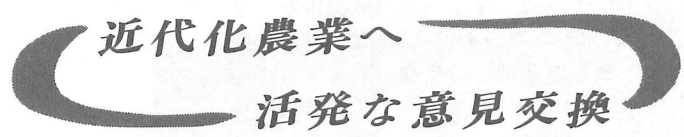
以上のような時間帯で、放送しています。

※放送内容及び放送機器などについてのおたずねは企画空港対策課へ。(☎1111内線26)



農業の発展をめざし、町長と語る歴代青年部会長

## 町長、農業振興会 歴代青年部会長 と語る



が広がる中で、水田利用再編次期対策の重要性や今後の見通しなど、水稲を基幹作物とする当町にとって一段と厳しい環境にあることを確認すると共に、農家個々の問題としてではなく、集落、町ぐるみで取り組み促進する。

第二点として—— 農家経営を圧迫している大きな要因である農業機械の過剰投資問題については、高性能大型機械の導入・機械の共同化・農作業の協業等集約化することが必要である。しかし、これらの前提として土地基盤の整備、農地流動化による土地の集積等、規模拡大を促進し機械の効率利用による低コスト農業を図る。

第三点として—— 地力増進対策はすでに実施中であるが堆肥化の段階で環境対策に検討を要するところもあり、今後は堆肥盤等の設置による対応を図る。

第四点として—— 農業後継者確保とその配偶者対策については、後継者が意欲を持って取り組める農業経営の確立と、配偶者が喜んで稼げる「明るい農村づくり」を実践する必要がある。以上四点について参加者の皆さん口角泡をとばし、時間の経過するの忘れ熱心に討議されました。

町長は、日々厳しさを増す農業情勢に対応するため、中核農家であり営農実践者である歴代青年部会長14人の出席を要請し、「横芝町の農業の現状と将来展望」と題し、「農政懇談会」を開催しました。

冒頭、町長から、当町の農業をとりまく諸情勢について説明と提言があり、その中から次の四点を検討課題に取り上げ、討論を繰り広げました。

第一点として—— 生産者米価、食糧問題等に端を発し農業批判